

## 一般社団法人日本人間工学会第 11 回理事会 議事録

1. 開催日時：平成 23 年 6 月 5 日（日） 15:00～16:40
2. 開催場所：早稲田大学国際会議場 3F 第 1 会議室
3. 出席者：
  - ・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)  
(理事)：斉藤進(理事長・文科省科研費)、青木和夫(学術会議・横幹連・人間工学専門家認定・文科省科研費)、大久保堯夫、大須賀美恵子(学術会議)、垣本由紀子、岸田孝弥、小松原明哲(編集・子どもの人間工学)、斎藤真、三林洋介(財務)、外山みどり(総務)、土屋和夫、福田康明、堀江良典(国際)、吉武良治(広報・テレワークガイド) [14 名]  
(理事兼支部長)：横山真太郎(北海道)、北村正晴(東北)、八田一利(総務・関東)、萩原啓(関西)、村田厚生(中国・四国)、長谷川徹也(九州・沖縄) [6 名] [計 20 名]  
(欠席者)：阿久津正大(副理事長・表彰)、石田敏郎、岡田明(財務)、小谷賢太郎、酒井一博(横幹連・企業の人間工学教育のあり方検討)、富田豊、横森求(東海)
  - ・監事：大内啓子
  - ・オブザーバー：横井孝志 (ISO/TC159 国内対策、研究倫理審査検討)、榎原毅(ニーズ対応)、河合隆史 (第 52 回大会長)、芳賀繁 (安全人間工学)、栃原裕 (第 53 回大会長)、村木里志 (第 53 回大会事務局)
  - ・事務局：栗田紀子、青木彩
4. 議事概要

定足数 14 名を超える 20 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進めた。なお議事録署名人として議長、大内啓子監事のほか、八田一利総務理事が指名され承認された。

### 【審議事項】

- (1) 第 1 号議案 平成 23 年定時社員総会資料について  
平成 22 年度事業報告(案)・収支決算(案)及び平成 23 年度事業計画(案)・収支予算(案)が前回の第 10 回理事会で承認されていることを確認した。前回の理事会後、単純な誤記等のほかは内容の修正が無いことが総務から報告され、本資料を平成 23 年定時社員総会資料とすることが承認された。
- (2) 第 2 号議案 投稿規程の改定について  
編集委員会より二重投稿の禁止、研究上の倫理への配慮、学会の著作権規程との関係を明確にした投稿規程改定案が提案され、メール審議を経て原案通り承認された。

### 【報告事項】

- (1) 総務報告
  - (1-1) 一般社団法人日本人間工学会 第 10 回理事会議事録について

メール審議を経て第 10 回理事会議事録が確定した旨、報告があった。

(1-2) 会勢報告(5 月末)

2011 年 5 月末現在、会員数 1853 名(4 月に比べ 4 名増)、賛助会員 35 社 36 口(同、1 社 1 口減)。なお、前回承認された東日本大震災の被災者の年会費免除措置に、6 月 1 日現在 3 名の申請があった旨、報告があった。

(1-3) オンライン入会処理ミスについて処理

総務理事より、4~5 月の間、オンライン入会申込のデータ処理にミスがあった旨報告があり、手続きができなかった理由とその後にとった種々の対応について説明があった。

(1-4) 大会講演集の電子公開について

総務理事より、5 月 20 日に第 50 回記念大会(つくば)の大会講演集が J-Stage に公開されたこと、及び今後の公開予定(第 51 回大会(札幌)-2011 年 8 月末、第 52 回大会-12 月末)について説明があった。

(1-5) 著作権規程について

総務理事より、前回の審議及びメール審議の結果を反映した点について説明があり、著作権規程を確定した旨、報告があった。

(1-6) 収支予算書の形式について

前回の理事会で出された予算書の形式に関する提案について、総務理事より現在の JES の収支予算の形式は多くの学会等で用いられている形式であることを確認した旨、報告があった。

(2) 第 52 回大会の開催について

河合大会長より、準備は順調に進んでおり最終の詰めの段階であること、また、震災対応についても報告があった。

(3) 第 53 回大会について

栃原大会長より、2012 年 6 月 9 日(土)~6 月 10 日(日)に九州大学大橋キャンパスにて開催することが説明され、あわせて村木事務局長が紹介された。

(4) 担当・委員会報告

(4-1) 編集委員会

小松原委員長より、「人間工学」誌へ積極的に投稿してほしい旨、呼びかけがあった。

(4-2) 国際協力委員会

堀江委員長より下記の 2 件の報告と依頼があった。

- ・第 52 回大会懇親会において、日韓協力に対する大韓人間工学会のこれまでの多大な貢献に感謝し、3 名を表彰委員会の協力を得て表彰する。
- ・来年 2012 年 2 月に、ブラジルのレシフェで開催される IEA のポスター発表の申し込み締め切りが延長されたので、積極的な参加をお願いする。

(4-3) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より下記の 3 件の報告と要望があった。

- ・委員会内規及び運営規約を改定する予定である。
- ・適正な運営のできる事務局体制とする必要がある。
- ・SC 主査、WG 主査に若手の人材を登用する方向で検討中であり、候補者の推薦をお願いする。

#### (4-4) 人間工学専門家認定機構

青木機構長より下記の2件の報告があった。

- ・2011年3～5月に、専門家資格登録者は4名、準専門家登録者は11名であった。
- ・会報 vol. 27 を5月13日に発行した。4月22日に開催した講演会及び緊急意見交換会について、詳細が掲載されているのでご一読願いたい。

#### (4-5) 研究倫理審査検討委員会

横井委員長より、研究倫理審査機関をもつ他学会の現状について、分野、内容、申請資格等の説明があった。本学会で研究倫理審査を実施するかについてさらに検討する。

#### (4-6) 安全人間工学委員会

芳賀委員長より、安全人間工学委員会名で「福島第一原子力事故と責任追及について～事故から最大限の教訓を得るために～」と題する声明を5月23日付で学会HPに掲載した旨、報告があった。なお、7月24日にJES安全人間工学研究部会が主催し、シンポジウムを仙台で開催する予定。

#### (5) 支部報告

(5-1) 北海道支部、(5-2) 東北支部、(5-3) 関東支部、(5-7) 九州・沖縄支部は、前回理事会以降特に報告なし。

#### (5-4) 東海支部

斎藤真理事より5月14日に支部総会を開催した旨報告があった。

#### (5-5) 関西支部

萩原支部長より幹事会の日程調整を実施した旨報告があった。

#### (5-6) 中国・四国支部

村田支部長より、11月26日に下関にて九州・沖縄支部と合同で支部大会を開催する旨報告があった。

#### (6) 協賛等の依頼

8件の依頼について協賛する旨、理事長より報告があった。

#### (7) 学会役員等の選任について

本年度に、代議員及び役員等の選挙が実施されることを踏まえ、役員任期に対するこれまでのJESの議論と他学会の役員選出方法の例について、理事長より説明があった。

#### (8) 元 IEA 会長の Hal Hendrick 氏の逝去について

理事長より、元 IEA 会長の Hal Hendrick 氏逝去の報告とご遺族へ弔意を表したこと、氏と JES との関わりなどの紹介があった。

#### (9) その他

- ・学会の会員のメーリングリストの有無について確認があり、現在、広報委員会でニューズレター配信の準備とメーリングリストの作成について検討している旨、説明があった。
- ・大会講演集の J-Stage への掲載の遅れについて発言があり、この件については、各大会の責任であるが、理事会も引き続き可及的速やかに J-Stage への掲載がされるよう対応することを確認した。

#### (10) 今後の理事会日程（予定）について

平成 23 年 9 月、12 月、平成 24 年 2 月、5 月、6 月

5. 閉会

以上の議事を終え、16 時 40 分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成 23 年 6 月 5 日

議 長 齊 藤 進 ⑩

議事録署名人 八 田 一 利 ⑩

議事録署名人 大 内 啓 子 ⑩